

平成21年3月定例会 一般質問一覧表

質問 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
1	大 森 一 生	1 スポーツ振興による経済活性化について (1) 吉備国際大学と地域の各種スポーツ団体との連携によるまちづくりと経済活性化について 2 高梁市における教育振興について (1) 人口減少化、少子化の時代における本市の教育振興について (2) 経済格差、地域格差による教育格差の拡大について (本市における現状と今後について) 3 新型インフルエンザ対策について (1) 本市における新型インフルエンザ対策について
2	三 上 孝 子	1 今こそ市民のくらし優先の市政に (1) 市長は市民のくらしと経済をよくする立場で国に対してはっきりとものを言うこと (2) 具体的な施策の実現を ① 国保税について (ア) 1世帯1万円の引下げを行うこと (イ) 独自の減免制度を実現すること ② 介護保険制度について (ア) 第4期介護保険事業計画を問う (イ) 独自の減免制度を実現すること ③ 保育制度について (ア) 公的保育制度の改悪を許さず充実を (イ) 第2子以降の保育料を無料にすること 一国の予算措置ともかかわって一 ④ 学校教育の支援充実を (ア) 夜間高校の給食の充実を (例) 現行の食パン1枚と牛乳をおにぎりとスープに (イ) 市内高校への通学費の助成を求める (ウ) 学校図書館司書の長期臨時雇用の改善を
3	難 波 英 夫	1 景気悪化から市民のくらしを守ることに (1) 日本の景気悪化は、国政における「構造改革」路線が、内需、家計をないがしろにして、日本経済を極端な外需頼み構造にしてきたことによって、アメリカ発の金融危機から国民を守る「防波堤」を崩してしまった結果だと思います。

質問 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
3	難 波 英 夫	<p>いま急がれることは、大企業優先の経済運営から国民の家計を温める経済へと方向転換をすることではないでしょうか。</p> <p>今こそ高梁市が国に言うべきことをきっちりと言い、住民のくらしや営業を守る「防波堤」となるよう求める。</p> <p>市長の見解を問う</p> <p>2 労働者の雇用と中小商工業者の営業を守ることについて</p> <p>(1) 「大企業による派遣労働者切りをやめさせる、また、下請け企業いじめをやめさせるよう」国が責任を持って指導、監督するように市として要請すること</p> <p>(2) 誘致企業に対して雇用の維持を強く要請すること</p> <p>(3) 市内の中小商工業者に官公需の発注と生活密着型の小規模公共事業の発注で、業者の仕事確保と雇用の創出を求める</p> <p>(4) 小規模工事契約希望者登録制度の創設で、小規模業者の仕事を増やしてはどうか</p> <p>3 水道料金を引き下げて、くらしを応援することについて</p> <p>(1) 簡易水道料金を現在の算定料金「10 t まで 2,000 円」を「10 t まで 1,500 円」とし、加算は「1 t あたり 150 円」とすることで、上水道と同一料金にすることを求める</p> <p>(2) 簡易水道、上水道ともに、水道料金算定基準を現在の 10 t を 5 t に設定し、「5 t までの料金を 750 円」とすることを求める（加算料金は「1 t あたり 150 円」）</p> <p>4 農業振興について</p> <p>(1) 生産者米価の引き合う価格保障と所得保障制度を国に強力に要請されること</p> <p>(2) 農業の担い手育成に力を入れること</p> <p>① 新規就農者（新卒者だけでなく）に対して、3 カ年間毎月 15 万円の支援金を求めると同時に、営農に対する相談、指導の援助をすることを求める</p> <p>(3) 肥料の高騰に直接補填する制度を創ること</p> <p>① 国の対策は、高梁市にほとんど適用できなかったため、農家は再生産に不安を持っている</p> <p>（例えば、昨年のもろ米肥料代金から、今年の価格引き上げ幅の 2 分の 1 を補助すること）</p>

質問 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
3	難 波 英 夫	(4) 米の強制減反をやめ、ミニマムアクセス米の輸入を中止すること ① 国に要請すること ② 各種補助事業の採択要件に減反達成を条件にしないこと 5 消防法改正に伴う火災報知器設置義務について (1) 火災報知器の購入に対して、全戸に購入助成金を支給する制度を求める (2) 悪質販売を防止する対策を講じること
4	倉 野 嗣 雄	1 地域局について (1) 市長は地域局を今後どのようにされるのか (2) 本庁と地域局の連携は十分できているか 2 消防団員の装備について (1) ヘルメットの耐用年数をどのように理解されているか
5	田 中 広 二	1 行政サービスの現状を問う (1) 税の申告相談、会場指定について (2) 成羽地域局の市民窓口の時間短縮について 2 機構改革について (1) 市教委事務局移転の経過について ① 新市建設計画に基づいた合意と理解の深度化について ② 県民局支局庁舎に移転する協議と時期について 3 高梁市立宇治高校について (1) 現状維持の方針に対する県教育庁の対応を問う (併せて旧成高跡地を含む) ① 現状維持の生徒募集の実態を問う ② 特別支援学校の対応を問う 4 情報化計画を問う (1) 計画及び変更、合併時のなりわビジョンの理解度を問う
6	小 林 重 樹	1 玉川橋架け替え計画の進捗状況と市道玉川落合線の整備による問題点について (1) 玉川地区市民の長年の夢である玉川橋の架け替え計画が県、市双方の事業計画で進んでいるが、その進捗状況と市道玉川落合線の整備に伴う車両等の増加による問題点について

質問 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
6	小 林 重 樹	<p>2 収税率の向上とふるさと納税について</p> <p>(1) 地方交付税の削減と財政難に苦しむ本市にとって、収税率の向上、滞納税の徴収は急務であり、避けては通れない課題である。</p> <p>そこで、滞納税の徴収はどのようになっているのか。また、収率向上の手段として導入されたふるさと納税の現況はどうか</p>
7	宮 田 公 人	<p>1 教育行政について</p> <p>(1) 全校児童数が10名を切る少人数の小学校について教育委員会は今後の方針を検討すべきではないか</p> <p>(2) 吹屋小学校と布寄小学校は老朽化が著しく、危険校舎でもあるが、この対策をどのように考えているのか</p> <p>(3) 今後、市内小・中学校の適切な配置を考える上で、吉備中央町が実施されたような、小・中学校統廃合に関する意向調査を実施し、基礎データを集めるべきではないか</p> <p>(4) 高山小学校の利用方法については、平成17年3月議会、平成19年6月議会、平成20年8月議会において質問、提言を行ってきた。「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（補助金適正化法）」の適用が解ける平成22年度以降の有効活用について、現時点でどのような検討を行っているのか</p> <p>2 地域行政の推進体制について</p> <p>(1) 合併を経て、すでに4年が経過する中で、地域局のあり方と地域市民センター制度の整合性について調整、研究を行い、地域行政推進体制の再構築が必要ではないか</p> <p>(2) 特に地域市民センターについては、各地域の現状を理解するという意味で、係長までの若い職員を派遣し、地域組織と一体となって地域行政を推進させるべきではないか</p> <p>3 市内生活交通システムのあり方について</p> <p>(1) 平成22年を区切りとして、地域振興特定路線14路線が県補助対象外となるが、こうした国・県の政策転換を受け、本市も生活交通システムのあり方につき検討を加えなければならない時期にある。こうした状況下、現時点でどのような検討がなされているのか</p>

質問 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
7	宮 田 公 人	<p>4 ゴミ処理の将来展望について</p> <p>(1) 本市において、単年度にかかるゴミ処理経費は、焼却ゴミだけで4億5千万円（H15～H19実績平均）にのぼっている。また、施設の維持管理、利用可能年数も約20年と非常に短く、長く見積もってもゴミ焼却施設長期包括的運営事業の最終年度（H30.3）以降は、施設の更新についても検討を加えなくてはならない時期にさしかかる。さらに単独で焼却施設を建設するとなると、循環型社会形成推進交付金等の制度を利用しても多額な財政出動を余儀なくされる事は自明である。こうした中で、本市におけるゴミ処理の将来展望を現時点から見据えておく必要があるのではないか</p> <p>(2) 現在、県下を6ブロックに分け、広域的なゴミ処理施設整備を図る目的で「新潟県ごみ処理広域化計画」が策定され、各ブロックで調整がなされている。高梁ブロックは、高梁市、新見市、真庭市、新庄村で構成されているが、この計画についてどのような方針で臨むのか</p>
8	細 川 繁 信	<p>1 市立成羽病院について</p> <p>(1) 市立成羽病院の改築計画は白紙撤回との選挙公約であるが、白紙撤回の先には何があるのか、市長の見解を伺いたい</p> <p>(2) 診療所との連携を密にして、在宅医療の支援拠点として医療介護の体制強化に取り組むべきと思うが、市長の見解を問う</p> <p>2 限界集落について</p> <p>(1) 県は4月1日から限界集落の名称を小規模高齢化集落と改めるとされている。最近では前向きなイメージの言葉に呼び替える動きが広がっている。本市ではどのように考えているのか</p> <p>(2) 集落支援員制度を具体的にどのように推進されようとしているのか。本市の取り組みを問う</p> <p>3 道路行政について</p> <p>(1) 市道高山富家線の道路改良が120mほどの区間が中断している。市はどう対応するのか</p> <p>(2) 市道磐産線の道路改良の進捗状況を問う</p>

質問 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
9	森 田 伸 一	<p>1 市立高等学校（宇治高等学校）について</p> <p>(1) 当面、現状のまま存続することとなった宇治高等学校の今後について</p> <p>① 現在、普通科として生徒募集しているが、市立として存続する高校としては、宇治高校ならではの教育特性を考えるべきではないのか （生徒数確保の観点から）</p> <p>② 老朽化している校舎の改修については、どのように考えているのか</p> <p>2 川上町佐屋地区について</p> <p>(1) 佐屋地区の分離統合事務について</p> <p>① 平成 19 年 3 月以降の事務進捗状況と今後の方向性について</p>
10	田 島 肇	<p>1 インフルエンザ予防接種料金の負担軽減措置について</p> <p>(1) インフルエンザに感染する人は年々増加する傾向にある現状の中、本年度も一部の学校においては学級閉鎖をせざるを得ない事態も発生している。</p> <p>そういう中、特に命に関わるという観点から、65 歳以上を対象とした軽減措置はなされているが、次世代を担う子ども達にはその対応がなされていないのが現状である。子育て中の家庭にとっては負担も大きく、子育て支援の立場からも早期に軽減措置を行うべきである</p> <p>2 高梁市 AED 整備計画について</p> <p>(1) 平成 16 年 7 月から市全体を対象とし、公共施設や市民が多く立ち寄る民間施設などへの設置促進に努めていると思うが、現在設置が望まれる施設への対応はどのように進んでいるのか</p> <p>(2) 設置されても突然の事態に即対応ができる人材がいなくては効力はなく、多くの市民が活用できるよう救命講習会など市民に密着した講習が必要だと思うが、その対応はどのように行っているのか</p>

質問 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
1 1	三 谷 實	1 近藤市長が目指す市政運営と方向性について (1) 平成 21 年度当初予算について (2) 地域情報化事業について (3) 学園文化都市づくりの現状と今後の方向について (4) 本市の経済と企業の雇用の実情について (5) 国の経済対策に関わる臨時交付金、定額給付金について (6) 行財政改革について
1 2	宮 田 好 夫	1 雇用情勢等について (1) 市内の雇用情勢の認識について (2) 市民相談窓口の利用状況について 2 下水道計画の見直しについて (1) 見直しに至る経過と理由について (2) 該当地域の意見の収集と反映について (3) 計画改定に対する市民の合意形成について
1 3	丸 山 茂 紀	1 地域情報通信サービスの整備と運用について (1) 市民への周知徹底が一番大切なことであるが、審議する議会への説明と理解をもっと深めることが大切ではないか ① 成羽、川上、備中地域への加入等アンケート等はどのようなものなのか (2) 公設民営化という場合、公はどのようなことにどれだけの関与ができるのか ① 料金の均一化、料金の値下げ、他市との比較 (3) 告知放送サービスの運用はどのようなものなのか (4) 告知放送サービスとオフトーク通信の関係はどうなるのか 2 市民サービスの全市への均一化（公平と平等）について (1) 合併して 4 年半が経過したが、全市で統一したサービスがどの程度できているのか ① 上水道と簡易水道料金との問題 ② 公共下水道と有漢方式の合併浄化槽、また各戸の合併浄化槽との問題
1 4	妹 尾 直 言	1 ベンチャー農業の育成について (1) 従来型の農業振興だけではなく、高梁市独自の農産品のブランド開発等、新基軸の農業政策を展開する必要があるのではないか

質問 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
14	妹 尾 直 言	<p>(2) 販売、消費ルートの開拓、連携も含めた農業振興政策を 考えるべきではないか</p> <p>2 川上診療所について</p> <p>(1) 現在、休止されている入院施設の活用を市としてどのよ うに考えているのか</p> <p>(2) 指定管理先の旭川荘と具体的に協議をして、有効利用す るべきではないのか</p> <p>3 佐屋地区の問題について</p> <p>(1) 合併後4年間、中途半端に問題を先送りしてきたことを 反省し、方向を示すべきではないか</p>
15	川 上 博 司	<p>1 生活を守れ、今こそ未曾有の地域対策を</p> <p>(1) 国の第2次補正予算で自治体による雇用機会創出のために 「ふるさと雇用再生特別交付金」と「緊急雇用創出事業」が 用意されている。また来年度予算でも地域雇用創出推進費と して交付税が増額されている。これらの本市への配分と、そ の目的にかなった本市の取り組みについてはどのようになって いるのか</p> <p>(2) 急速な経済の冷え込みは、社会的弱者といわれる高齢者や 障害者にしわ寄せがいく。市長は新年度予算においてどのよ うなセーフティーネットで市民に明るい展望を示そうとされ たのか</p> <p>2 男女共同参画のこれからについて</p> <p>(1) 「男女共同参画社会基本法」が成立して10年、「高梁市 男女共同参画推進条例」が施行されて4年。この間の本市 における男女共同参画の動きをどのように総括し、今後の 行動計画にどのように反映しようとしているのか</p> <p>(2) 女性の地位向上に向けた本市の取り組みについて、審議会 などへの女性登用の促進、市管理職への女性登用促進プロ グラムなどはどのように対応していくのか</p> <p>3 学校給食の食物アレルギー対策について</p> <p>(1) 食物アレルギー対策検討委員会の取りまとめが非常に中途 半端な形で終わっている。今後どのように改善していくのか</p> <p>4 朝霧温泉「ゆ・ら・ら」について</p> <p>(1) 高梁市健康増進施設として機能していない。もっと市民に 利用しやすくするべきではないか</p>

質問 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
16	柳 井 正 昭	<p>1 市内の中小企業への具体的支援をどのように考えているのか</p> <p>(1) 今日の経済状況の中で、市長は本市の中小企業、零細事業者をどのように支援していくのか</p> <p>(2) 平成 21 年度当初予算では地域の中小企業をどのように位置づけているのか</p> <p>(3) 経済団体への財政支援を縮減されないことを要望し、また、具体的な支援策をどのように考えているのか</p> <p>2 市の周辺地域への支援策はどのように考えているのか</p> <p>(1) 市の中心部と周辺部の格差が拡大している中、周辺地域コミュニティが弱体化、あるいは崩壊する懸念が生じている</p> <p>① 地域のリーダーを育てるための施策</p> <p>② 地域に設置してある公的施設の維持管理</p> <p>③ 地域活動のための活動資金の確保</p>
17	内 田 大 治	<p>1 高梁市教委事務局移転について</p> <p>(1) 1月29日の全員協議会での市長表明と、1月31日付け山陽新聞での発表の内容の整合性について</p> <p>(2) 県民局高梁支局庁舎に移転するのに必要な費用はいくらか</p> <p>(3) 本庁舎改築後に本庁舎に移転する方が、経費負担が少ないのではないか</p> <p>(4) 職員の庁舎間移動に幾分ロスが生じているのが移転の主旨であるが、費用負担するだけの移転効果はあるのか</p> <p>2 市立成羽病院改革について</p> <p>(1) 成羽病院改革プラン検討委員会が1月29日に提出した意見書をどのようにとらえているのか。また、総務省に報告する改革プランにはどのような形で反映しているのか</p> <p>(2) 新たな検討委員会の使命は何か</p> <p>(3) 平成 21 年度以降の成羽病院改革（ハード面、ソフト面）の計画（スケジュール）をどのようにするのか</p>